



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

日本共産党新潟県地方議員団が政府交渉。8省庁に要望書を提出し懇談

医療・介護・子育て・原発・大雪対策



内閣府に要望書を手渡す遠藤れい子、左3人目は井上哲士参院議員

2月12日、日本共産党新潟県地方議員団は井上哲士参院議員と共に、政府要請を行いました。医師確保病院経営に関する要望、介護の確保、子育て支援、原発問題、緊急の大雪対策など、8省庁に要望書を渡し懇談しました。

医師確保・病院経営問題

新潟県は深刻な医師不足の下、医師を特定病院に集約しています。その結果、救急・手術は特定病院に集中し、それ以外の病院は後方

病院として機能や病床が大幅な縮小に。分娩受け入れを中止する病院も。中山間地では医療機関がなくなるなど、地域医療崩壊の危機が進行していると訴えました。

大雪対策

「今季最強寒波」が日本列島を襲来。新潟県は2月12日時点で、5市2町に災害救助法適用に。内閣府統括官(防災担当)は「住家が倒壊しかねない、日常生活に支障を及ぼすなど救助の必要性・妥当性があれば救助法適用の対象。救助現場の写真を残してほしい」と回答しました。

介護の確保、子育て支援

新潟県の高齢化率は34%と高く、高齢者の一人暮らしや高齢者のみ世帯が増え、認知症高齢者の割合も高く、在宅介護が困難になっていきます。訪問介護の基本報酬を昨年4月に遡り、改定前の報酬額に戻すと要望しました。子ども医療費を18歳まで無料に。国保の子ども均等

割保険料軽減の対象年齢の拡大を。保育士の配置基準の改善と保育士報酬の引き上げを。生活保護費の減額をやめ、物価高騰に見合った水準に引き上げてほしい等と要望しました。

原発問題の要望

能登半島地震の経験により、大規模な地震と原子力災害との複合災害時には屋内退避などできないことが明らかに。実効性ある原子力災害対策指針、地域防災計画・避難計画の策定が必要です。

中之島みずほ団地は70人もの小中学生がいます。大雪でスクールバスの集合場所、通学道路や歩道が雪で埋まり、除雪が出来ていません。保護者は「車道を歩かせるのは危険。歩道除雪をしてほしい。」と要望があり、現地を視察しました。

遠藤れい子の笑顔でファイト

歩道除雪をしてほしい。」と要望があり、現地を視察しました。

雪に埋もれた通学路対策を



子どもたちの集合場所も雪の山 課題は毎日の除雪をどうするかです

長岡市では、町内に除雪車の貸与と燃料代の補助制度があります。活用してなんとか除雪体制が作れないものかと思えます。

石破首相は12月4日、参議院本会議で「緊急時対応がない中で原子力発電所の再稼働が実態として進むこととはないと考えている」と答弁しています。中越地震や中越沖地震では、住家の倒壊、国道8号、116号、352号線など主要道路も寸断されました。22年12月の豪雪では8号線で車800台22kmに及ぶ立ち往生が発生しました。「緊急時対応」は自治体任せにせず、国の具体的な対策を講じてと要望しました。